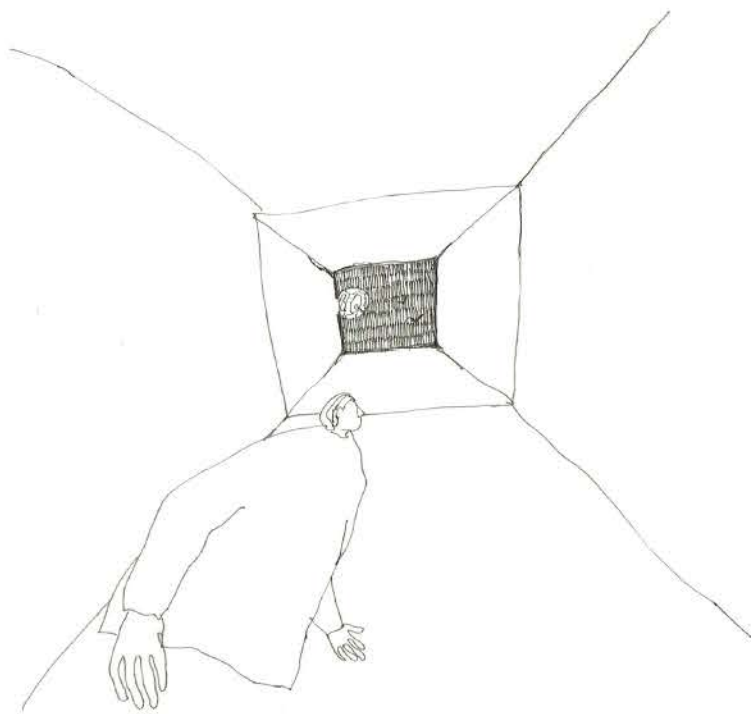


小さな沈黙、^{ひと}縮く支度

「あなたがたは面積が四十ヘクタールで人口が千余人という、
まったく玩具のような小国が、
日本列島の中に存在していることをご存じだろうか」

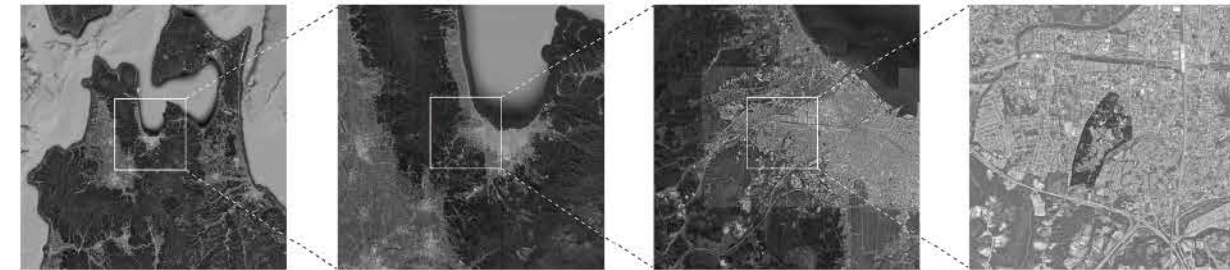
—島比呂志『奇妙な国』



敷地



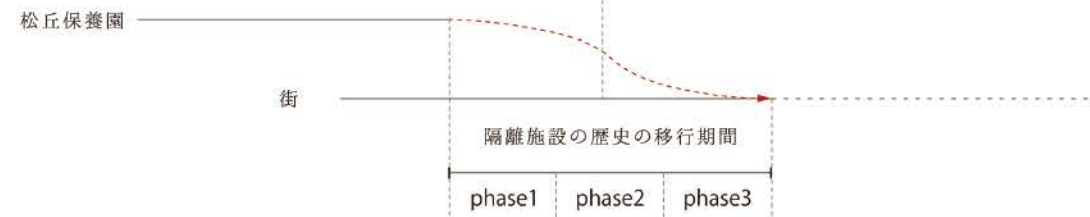
最北端の最果ての地に建設された隔離施設「松丘保養園」
北海道地区・東北地区の患者を中心に1909年より隔離を行う。



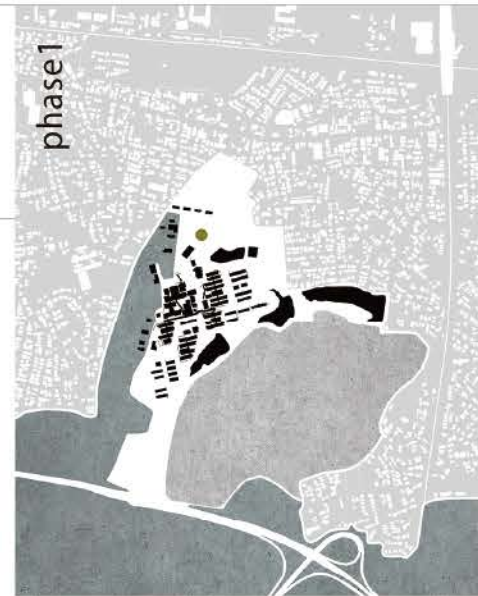
構想

滅亡する為に作られた小さな街（松丘保養園）の傍に内へ引き込む起爆装置を作り、外と隔てる見えない壁を融解していく。見えない隔てられた壁が溶け始めた時に松丘保養園自身の分解が始まる。その後装置自体においても保養園の過程を倣いながら少しずつ分解され、新しい物語が始まっていく。

現状



提案



ハンセン病

ハンセン病は、らい菌による慢性の感染症。

らい菌自体の感染力はきわめて弱く、95%以上の人が、らい菌に対する免疫を持つ。このため、たとえ感染したとしても自然治癒し、発症することはきわめて稀。一般的な初期症状としては、皮膚にあらわれる斑紋が知られる。斑紋は身体のとどこにでもあらわれ、白または赤・赤褐色、平らなものや隆起したものがある。この斑紋には知覚（痛み、触感、温度など）が無く、傷口の化膿、二次感染、身体の一部の変形、欠損などの原因ともなる。

2002	「国連ハンセン病患者福祉推進条約（国連条約）」署名
2001	「ハンセン病国際デー」の制定（7月6日）
1998	「ハンセン病」を「皮膚病」から「感染症」に分類
1996	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1996	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1995	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1951	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1948	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1947	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1945	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1940	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1931	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1926	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1916	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1915	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1909	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類
1907	「ハンセン病」を「慢性感染症」に分類

phase1

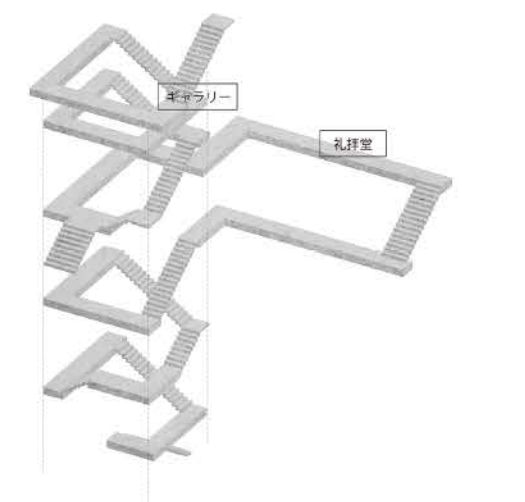
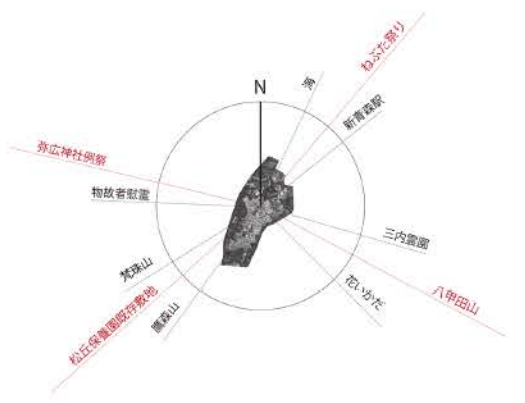
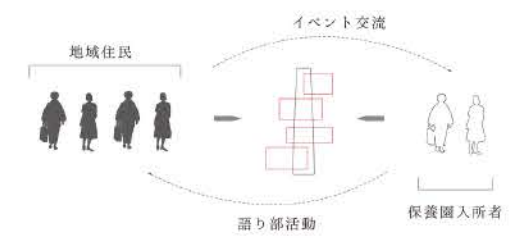
朝起きる
掃除をする
本を読む
散歩
朝ごはん
作業活動
昼ごはん
作業活動
夜ごはん
お風呂に入る

phase2

豆まき
演奏会(中学生)
帆上げ大会
観覧会
歌謡交流大会
ゲートホール大会
七夕祭
納涼祭り
花火鑑賞
ねふた祭り
演奏会(高校生)
弥広神社例祭
物故者慰霊祭

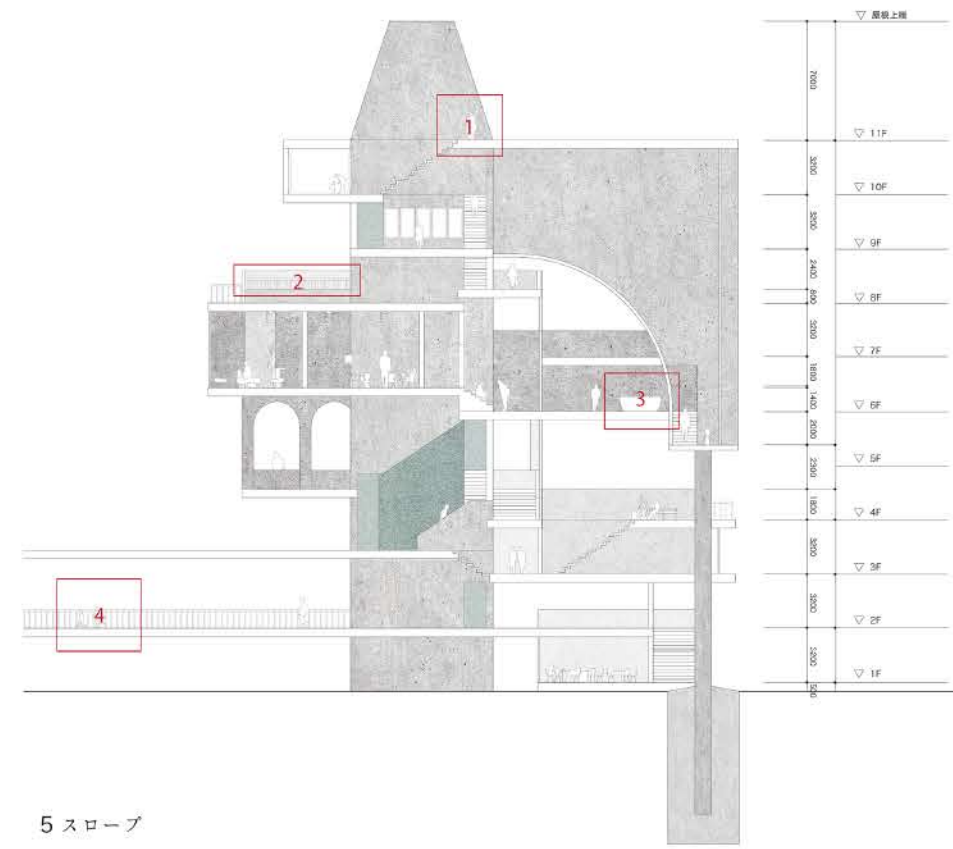
phase3

家族との別れ
入所
新しい名前の自分
友達ができる
結婚する
断続手術を受ける
軽快退所と別れ
再入所
この世を去る



section [phase2]

user



1 望郷の丘
高い木々に囲まれた暮らしの中で人々は外の世界を知ろうと高台に登って辺りを見渡した。この施設の最上階からは、各階層のテラスに植えられた木々を越え、望郷に想いを馳せた当時の人々の姿と重なりあう。また、最上階にはギャラリーを経由することで到達が可能である。

2 隔てる柵
8階に位置するテラスから800mm下がったテラスへは柵が設けられ、移動することができない。当時の「健常者は椅子に腰掛け、患者は正座を余儀なくされた」情景を継承する一場面が浮かび上がる。

3 手術台
養生保護法により、子供を授けられないようにする手術が強制的に行われた。礼拝堂の無機質な壁に囲まれた一角には、手術台が静かに鎮座する。



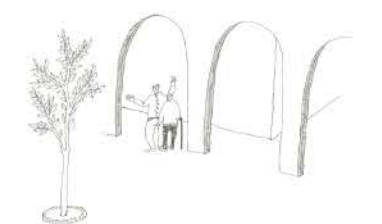
4 桜を跨る橋
本敷地の隣に植えられた桜へ続くこの橋は、保養園の輪をとり周辺の街の輪と異なっている。美しい桜を望み、街へ到達することの無い行き止まりの道である。

location

5 スロープ
保養所では、年齢や病状の為に足が不自由な方が多い。施設の建物の多くにスロープが設けられ動線計画を緩和している。このスロープを通りながら広々としたテラスへ向かっていく。

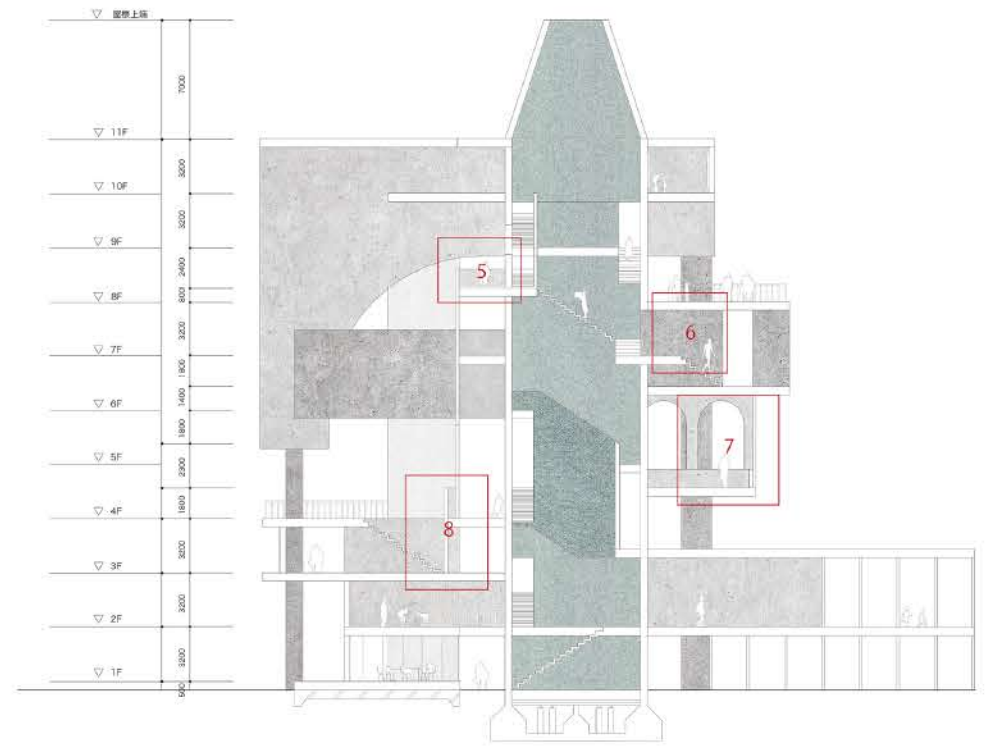
6 隔つ壁
中心の塔内部における動線上に対し、垂直に面が表出する。その壁を沿い街を見下ろしなら階段を下ってゆくと、別の空間(美容室・図書室)に辿り着く。

7 アーチ
現在の保養園内にある寮の入り口の襖帯からアーチを抽出。冬の雪が積もるとき、アーチの見える範囲が変わることで積雪量を伺うことができる。



8 曲がる動線
松丘保養園は近くの大通りから曲がりくねった道を経てたどり着く。これは、人々の視線から施設を隠すことが目的で、施設の成り立ちが深く伺える要素である。コインランドリーへ向かう人と火葬場へ向かう人とが距離を保つ為の役割を担う。

circulation



この構想は、歴史を風化させることではない。
今を生きる人にそっと投げ掛け、待ち受ける新しい物語の支度を整える。

